

大空衛

第78号
(新春号)



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 会長 太田 隆 …… 1	募金活動 日赤から表彰 ……22
新年のご挨拶	青年部会 研修会実施 ……22
大阪府知事 松井 一郎 …… 2	管工機材展に協賛 ……22
国土交通省 近畿地方整備局	4団体協議会を開催 ……23
営繕部長 白川 和司 …… 3	第42回野球大会を開催 ……25
新年交礼会開催 …… 4	大空会ゴルフ大会を開催 ……29
日空衛 第22回全国会議開催 …… 5	ボウリング大会を開催 ……30
平成27年度 安全衛生大会開催 …… 7	告知板 (賛助会員募集・白井氏厚労大臣賞) ……31
第7回配管技能コンテスト開催 ……10	期待される「地中熱ヒートポンプシステム」 ……32
配管技能コンテスト 審査講評 ……12	新 労務単価決定 ……34
配管技能コンテストに参加して	ニュースフラッシュ ……35
(高校生5人) ……13	基礎知識研修会受講ガイド ……36
第53回技能五輪全国大会報告 ……17	年賀ご挨拶 (会員・賛助会員一同) ……38
平成27年度 安全パトロール実施 ……18	編集後記 ……40
官公庁との懇談会 ……21	

(表紙写真)

ビッグバン (大阪府立大型児童館)

(泉北高速鉄道泉ヶ丘駅徒歩10分)

宇宙船を思わせる円盤形の建物、垂直にすくと天に伸びる建物、どこから見ても太陽の光を眩しく反射する多面球形の建物——。まったく異なる3つの建物が不思議なコントラストを描いている。「ビッグバン」は「遊び」をテーマに子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点として3年余をかけて平成11年にオープンした。

著名な漫画家松本零士氏が名誉館長として創作した「宇宙からの訪問者〈ベアル〉と〈メロウ〉の壮大な旅物語」に沿ってストーリー性のある非日常空間を演出したという。本館1階のエントランスフロアから2階、3階のフロアにわたる段状の大空間、その上は着陸した宇宙船をイメージした4階部分で構成され、さらに、隣には半円の球形劇場(こども劇場)、そして地上高53mの遊具の塔がそびえ立っている。目を見張るこの建物は、子供の健やかな成長を支える「夢と希望の」の建物である。



新年のご挨拶

会長 太田 隆

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平成28年の新春を健やかに迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、健全な建設業界発展のために最も重要な課題の一つに、人材を確保・育成するということがございます。技術者不足、技能者の高齢化は深刻な状況となってまいりました。少子化の影響により、今後、若年労働者の減少が更に進めば、他産業との人材確保競争が激しくなることは明らかであります。女性技術者の活用も含めた、若年労働者の入職促進のためには、労働環境の改善や社会保険未加入業者の加入促進に積極的に取り組んでいく必要があります。

また、熟練技能者の高齢化、若手入職者の減少が続いた結果、熟練工の技能継承が極めて厳しい状況にあります。品質の高い空調衛生設備を提供し続けるために、技能の継承に努めなければなりません。当協会としても、関係団体が開催する空調衛生講習会などへ若手技術者を積極的に参加させると共に、熟練技能者、若手後継者の育成を目的に実施しております配管技能コンテストを更に充実させてまいります。併せて、空調衛生工事業が社会貢献の重要な事業であることを積極的に発信し、業界の地位向上に取り組むことも重要であります。

われわれは、設備の設計・施工・運転管理から廃棄に至る活動を通じて、化石エネルギーの消費、温室効果ガスの排出、フロンガスの放出削減を図ると共に、省エネルギーを推進し、人々の家庭や職場などでの快適な環境を提供する「低炭素社会づくり」を先導するという重要な役割を果たしております。協会として、様々な広報活動を通じて、空調衛生工事業の誇りと、魅力発信に努めてまいります。

更に、建設業の健全な発展のためには、公共工事の果たす役割が重要であります。行政に対して公共工事の拡大、そして、担い手育成のため、適正な利潤が確保できる予定価格の設定、適正な工期での発注を強く求めてまいります。

結びに、今後とも協会活動を活性化させ、業界の更なる発展のため、会員・賛助会員のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄並びに皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。



新年のご挨拶

大阪府知事

松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、住みよい大阪のまちづくりにご貢献をいただきますとともに、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

大阪府知事として2期目の府政を担当させていただくことになりました。

府民の皆様の、改革を継続し一層の成果をあげたいという期待と、大阪をもっと豊かにしたいという切実な想いを受け止め、その重責を痛切に感じております。有言実行を肝に銘じて、府政の推進に取り組んでまいります。

2期目のスタートに当たり、東西二極の一極を担う大阪の実現をめざし、“副首都・大阪”の確立を具体的なミッションとして掲げております。平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する“副首都・大阪”の確立に向け、今後4年間で大阪市はもとより府内市町村や経済界とも力をあわせて、その土台を築いてまいりたいと考えています。

府政運営は、引き続き、「変革と挑戦」を基本姿勢として「成長と安全・安心のよき循環」による豊かな大阪の実現を確かなものにしてまいります。大阪発の新たなビジネス、イノベーションを創出するため、交通インフラの整備やうめきた2期など、まちづくり・都市基盤整備を進めてまい

ります。また、府民の皆様の暮らしの安全・安心を守るため、密集市街地対策や建築物の耐震化の促進など、防災・減災の取り組みも強化してまいります。

さて、建設産業の現状は、依然として現場で活躍する職人の雇用環境の厳しさが続いており、就業者の高齢化が進行しております。また、景気回復に伴う人手不足の傾向も強まっており、建設業を支える人材の確保が課題となっております。このような状況のもと、貴協会におかれましては、配管技能コンテストの実施による、熟練技能工の育成など、優れた技能労働者の確保と社会的地位の向上のために、たゆまぬご努力を重ねておられます。

大阪府においても、引き続き、技能労働者の処遇向上等を図るため、貴協会をはじめとした建設事業者の団体と連携し、保険未加入業者の排除に向けた取り組みを推進してまいります。

今後とも、これらの取り組みの推進並びに大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますとともに、大阪府政の推進に、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、本年が皆様にとって実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 白川和司

明けましておめでとうございます。

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会 並びに会員の皆様方には、すがすがしく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より、国土交行政の推進、営繕事業の執行にあたり、深いご理解とご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年、来年度に向けての官庁営繕関係の事業の実施にあたりましては「防災」、「長寿命化」、「ストック効果」を主たる柱としていく考えであります。また、PFI手法による大阪第6合同庁舎の整備の検討、木材利用、地域連携による国公有財産の最適利用、円滑な施工確保にも取り組んでいく所存です。

「防災」については、南海トラフ巨大地震に備えた官庁施設の地震・津波対策を推進するため、建物の構造体だけでなく、外壁・建具などの建築非構造部材及び建築設備を含む建物全体として、総合的な耐震安全性を確保するための整備が必要とされています。震災後も国民に対し継続して行政機能を確保していくことが重要であることを、東日本大震災の教訓から改めて認識する中で、発災後もすぐに災害応急対策活動が出来るようにするため、設備関係機器及び配管類の転倒及び破損を防止し、津波対策として、自家発電設備や受変電設備を上階に移動させることによって、必要な電力・通信の機能確保することが必要と考えています。また、活動する職員の生活を支える水や排水の確保のための、水槽の上階設置などの整備も必要と考えており、そうした整備を実施していくこととしています。

「官庁施設の長寿命化対策」については、現在、

築後30年以上を経過したものが4割を超え、今後、大規模修繕や大型設備機器の更新が増えるため、官庁施設の老朽化対策を計画的かつ効率的に推進していく必要があります。このため、既存官庁施設を安全により長く利用し、トータルコストの縮減等を実現するため、個別施設計画策定を支援し、老朽機器や部品の効率的な更新等の「ハード対策」と、効果的・効率的に機能維持するための保全指導の実施により効率的な運転や確実な点検などの「ソフト対策」の両面から取り組み、さらには、ストック効果につなげていきたいと考えています。

また、皆様ご承知のとおり「公共工事の品質確保の促進に関する法律」など、いわゆる担い手3法が改正されましたが、現在及び将来の公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を図るため、「実績要件の緩和、等級・地域の拡大」や「営繕積算方式による適正な予定価格の設定」、「工事管理の適正化・効率化」、「応札時の負担軽減」などの対策を引き続き実施していくこととしています。

しかしながら、こうした施策も、貴協会並びに会員の皆様方のご支援、ご協力なくして具現化することはできません。今後とも引き続きご支援の程、宜しくお願い致します。

最後になりますが、多様に変化する社会情勢の中で、建築設備の担い手である皆様方のこれまでのご尽力に敬意を表しますとともに、今後とも技術力と経営力の向上および人材育成を通じて、業界がより一層発展していかれることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年がさらなる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成28年新年交礼会

370名が参集して賑やかに交流



年頭の挨拶を述べる太田会長

平成28年新年交礼会は、1月7日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からの多くのご来賓をお迎えし総勢約370名が参集して開催しました。

太田会長は年頭挨拶で、設備業界の技術者不足、技能者の高齢化が深刻さを増していることについて「今後、少子化で若年労働者の減少が進めば他産業との人材確保競争がさらに激しくなる。女性技術者の活用も含めた、若年労働者の入職促進のためには、労働環境の改善や社会保険の加入促進に積極的に取り組んでいく必要がある」と述べ、関係団体が開催する空調衛生講習会などへ若手技術者を積極的に参加させるとともに、熟練技能者、若手後継者の育成を目的に実施している配管技能コンテストを充実させていく考えを示しました。

さらに太田会長は、設備の設計・施工・運転管理から廃棄に至る活動を通じて、化石エネルギーの消費、温室効果ガスの排出、フロンガス



来賓挨拶を述べる白川様(左)と西村様

の放出削減を図り、家庭や職場などでの快適な環境を提供する『低炭素社会づくり』を先導していこうと呼びかけました。

ご来賓からは国土交通省近畿地方整備局営繕部長・白川和司様が「多様な建築設備を担う皆様の技術力向上、経営力向上、人材育成に期待する」と述べました。また、大阪府住宅街づくり部公共建築室設備課長・西村典文様は「皆様のノウハウと技術力で低炭素社会を実現してほしい」と激励を込めて祝辞を述べました。

城口俊雄副会長の発声で乾杯したあと、賑やかな交歓が繰り広げられ、近藤徹副会長の閉会の辞で交礼会を終えました。



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓



「申年」の門出を祝って乾杯



閉会の辞を述べる近藤副会長

日空衛 第22回全国会議開催

「女性人材」活用への取り組み模索



円内は挨拶する野村会長

日本空調衛生工業協会（日空衛、会長野村春紀氏）の第22回全国会議が10月28日に石川県金沢市で開催され、「女性人材」活用への取り組みを模索するとともに、業界の積年の課題である「空調衛生工業業の独自性の確立」へ向けて力を結集していくことを再確認した。

会議には都道府県の空調衛生工業業団体から役員を中心に約360名が金沢駅近くのホテル日航金沢に参集。野村会長は冒頭挨拶で、空調衛生工業業を取り巻く情勢について「人材の確保・育成が重要かつ緊急の課題。それにはまず空調衛生工業業を魅力的で誇るべき業界にしなければならない」と述べ、前年度に立ち上げた人材確保・育成特別委員会を中心に若者や女性の技術者の入職に積極的に取り組んでいく決意を示した。さらに、昨今多発する自然災害について触れ、「災害時に建物が無事でも設備が機能しなくなればどうしようもない。災害に対応できる設備で貢献するにはまだまだやるべきことは多い」と強調した。来賓からは国土交通省北陸地方整備局の藤山秀章局長が挨拶に立ち、「地域の活性化や災害対応には建設業の足腰を強くすることが重要だ」と激励を込めて期待の言葉を述べた。

次いで、特定非営利活動法人・水フォーラムの



国土交通省北陸地方整備局・藤山局長が来賓挨拶



女性技術者によるパネルディスカッション

竹村公太郎代表理事（兼事務局長）が「水と日本文明」と題して基調講演を行った。竹村氏は古代の日本で水と文明がきわめて密接にかかわっていたことを考古学、地理学などの視点から解説し、大和盆地で日本文明が誕生・開化したことの必然性を説いた。また、日本人の寿命の背景や時代とともに移り変わった女性と水とのかかわりなどを紹介した。

このあと、女性技術者によるパネルディスカッションを行った。ディスカッションでは、女性のコーディネーター、パネリスト（5名）が事前に聞いていたそれぞれの上司からみた自身に対する

長所・短所の評価を披露するとともに、悩みや職場の改善点、仕事への意気込み、希望などを話した。女性技術者に対する上司の評価では、長所として「3K職場の雰囲気明るく変えてくれる」、「コミュニケーション力が男性より優れている」、「細かな目配り・気配り・心配りがある」、「業務が丁寧」、「旧来の考えにとらわれず、発想の転換による提案がある」——などが挙げられた。

一方、短所としては、「仕事と家庭の両立が心配」、「体調や悩みが聞きづらい」、「厳しい指導がしにくい」、「頑張り過ぎて燃え尽きないか心配」、「専用更衣室やトイレの整備にコストがかかる」——などが挙げられた。女性技術者からは「トイレなどハード面の整備はともかく、女性として特別視しないでほしい」、「必要以上に気を使わなくても大丈夫」——など上司の懸念を払拭するような声が大勢を占めた。さらに、「自分が手がけたものが形になって残る達成感は格別」、「経験しなければ分からない魅力や楽しみがある」——など前向きな意見が多く出された。

最後に、日空衛がこのほど制作した3部作の人材獲得用の業界PRビデオが放映され、その活用が呼びかけられた。



日本水フォーラムの竹村代表理事が基調講演

安全衛生大会を開催



平成27年度安全衛生大会を10月2日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約160名が出席。最初に、業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげご冥福をお祈りしました。

大会で冒頭挨拶に立った太田隆会長は、昨年の建設業における労働災害での死傷者は1万7000人を越え、中でも高所からの墜落・転落災害は死亡災害の4割を占めており、平成27年7月に足場等に関する改正労働安全衛生規則が施行されて事業者が特別教育を行わなければならない業務に足場の組立、解体または変更の作業に係る業務が追加されたことに触れ、「このような状況下、より一層の安全衛生管理の向上を目指さなければならない。労働災害を防止するためには、経営トップ



挨拶する太田会長

から現場管理者・労働者の一人ひとりが安全基準や作業手順の基本ルールを守ることが重要である。一過性の指導に終わらず、粘り強く繰り返し教育の周知徹底を図り、労働者の安全を確保し、労働災害ゼロを目指してほしい」と呼びかけました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・石井聡様から来賓挨拶をいただきました。挨拶



「労災防止」を訴える石井様



安全衛生優良事業所として25社を表彰

搦で石井様は、工事現場での転落・墜落事故について「高さわずか2メートル前後での死亡事故もある。墜落事故防止対策は皆様と官が共同で取り組まなければならない重要な課題であり、改正労働安全衛生規則を徹底することはもちろん、労働災害防止の認識を一段と高めてほしい」と要請しました。

このあと、安全衛生優良工事の表彰式に移り、辻高司・安全労務専門委員が表彰条件、選考過程と結果を発表し、優良事業所25社を表彰しました。

被表彰者代表が太田会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。このあと、参加者全員で労働安全スローガン『危険見つけてみんなで改善意識高めて安全職場』と労働衛生スローガン『職場発！心と体の健康チェック はじまる広がる健康職場』を斉唱して作業の安全を誓い、大会第1部を終了しました。

小休のあと、第2部として、ジャーナリストの後藤謙次様を招き特別講演会を開きました。後藤様は「日本の政治はどう動いているのか～デフレ



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

脱却のアベノミクスは幻想に終わるのか」と題して講演。戦後政治の流れから安倍政権の思想基盤や政権を取り巻く国内外の環境などを解説し、安倍政治の底流にあるものを紹介しました。

最後に、若林尚史労務委員長が「労働災害の絶滅はわれわれの最大の責務であり、労災防止のノウハウをしっかりと次世代に伝えていく」と述べ、大会の幕を閉じました。



安倍政権の思想基盤を解説する後藤様



閉会の辞で安全を呼びかける若林労務委員長



表彰会社名 (25社)

(株)朝日工業社大阪支社
 協伸工業(株)
 斎久工業(株)大阪支社
 (株)三晃空調大阪本店
 (株)精研
 ダイダン(株)大阪本社
 (有)原設備
 (株)マサキ設備
 柳生設備(株)

浦安工業(株)大阪支店
 (株)共進社工業所
 三機工業(株)関西支社
 新日本空調(株)大阪支店
 ダイクウ(株)
 (株)日設関西支店
 日比谷総合設備(株)大阪支店
 丸住(株)

鳳工業(株)
 五建工業(株)大阪支店
 三建設備工業(株)大阪支店
 新菱冷熱工業(株)大阪支社
 大成温調(株)大阪支店
 日本メックス(株)関西支店
 (株)不二設備工業所
 美和設備工業(株)

第7回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計 45 人が腕を競う

学生の部 今岡優介君が優勝

一般の部 浪越国重氏が制す



当協会主催の第7回配管技能コンテストが8月22日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校（ものづくりカレッジ）で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて45人が腕を競いました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、当協会が実施しているものです。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校な

どの多くの先生が審査委員・審査補佐委員としてバックアップしていただきました。

開会式で挨拶に立った太田 隆会長は、建設業界での人手不足・工期遅れが問題となっていることに触れ、「コンテストはこうした課題に対応するため、熟練技能工の育成、後継者の育成を目的にしてきた。持てる力を十分発揮して素晴らしい作品ができることを期待する」と激励するとともに、関係者の運営協力にお礼を述べました。



学生の部優勝・今岡君（左）



一般の部優勝・浪越氏（左）



水圧テスト／サイズ審査のもよう



学生の部上位入賞者(前列)



一般の部上位入賞者(前列)

上位入賞者は次の通りです (敬称略)

【学生の部】

- 優勝 今岡 優介 (布施工科高校2年)
- 準優勝 蒔本 章太 (彦根工業高校3年)
- 第3位 木本 拓馬 (布施工科高校3年)
- 第4位 小西 翔 (布施工科高校3年)
- 第5位 岩永明香里 (布施工科高校2年)

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者25人(一般の部)、建築設備関連の学科を履修中の大阪工業技術専門学校、布施工科高校、彦根工業高校の学生・生徒20人(学生の部)の合わせて45人が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベルの課題作品、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦しました。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では布施工科高校の今岡優介君(2年)が優勝し、彦根工業高校の蒔本章太君(3年)が準優勝、3位に布施工科高校の木本拓馬君(3年)が入りました。一般の部では浪越国重氏(越智工業)が優勝、準優勝は佐藤淳氏(ツカサ)が獲得し、3位に浅野清治氏(浅野設備)が入賞しました。学生の部優勝者には大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課 瀬戸山貴志課長補佐から大阪府知事賞を授与されました。一般の部優勝者には大阪府職業能力開発協会会長賞として大阪空衛協会の田辺宣孝理事から賞状が授与されました。

【一般の部】

- 優勝 浪越 国重 (有越智工業)
- 準優勝 佐藤 淳 (株ツカサ)
- 第3位 浅野 清治 (浅野設備)
- 第4位 星野 正幸 (有山中設備)
- 第5位 黒川 善幸 (株ツカサ)

表彰式の審査講評で小倉一浩審査委員長(布施工科高校教諭)は学生の部の成績について「上位4位までは減点ゼロで、優勝・準優勝は僅差、4・5位も僅差の紙一重のハイレベルの大会だった」と述べ、一般の部については「寸法・出来栄えは1ケタ減点が12人いて混戦となった。2位と3位、4位と5位はいずれも大接戦であった。今回はとくに出来栄えでよい作品が多く、学生・生徒も参考になったと思う」と講評しました。

表彰式では1～5位の入賞者に賞状やカップ、記念品が贈られ、布施工科高校の植田篤司校長は学生の部表彰式で競技者をねぎらうとともに、「配管職はインフラを支える重要な職種であり、ロボットにとって代わられる仕事ではない。近い将来、社会を支えるインフラを皆さんが支えてほしい」と激励しました。

協会の技術・労務担当の白木博之副会長は閉会挨拶で「今、建設技能者の不足が深刻な問題となっている。このコンテストを通じて技能者の育成に注力していきたい」と述べました。

コンテスト審査講評

小倉 一浩 審査委員長

(布施工科高校建築設備系)



審査講評を発表する小倉審査委員長

一般の部

第7回配管技能コンテストが開催され、審査委員長を仰せつかり、無事終了しましたことを大空衛の役員の方々、設営・買出し・駐車番など多方面でご尽力いただいた青年部の皆様、またご関係の皆様にお礼申し上げます。

今回も上位入賞の方々は、優れた1級技能士であることを、明らかにする方々でした。1級技能検定実技試験では見ることのできない、ハイレベルの作品が多く、今回も減点数がとても少ない方が多かったです。

特に作品が完成した方25名(前回は21名)の中で水圧試験をする前には、13名(前回は12名)の方が基準点が一桁でありました。配管技能コンテストが定着しつつあると印象付けるものでありました。

優勝者の減点数は2点(前回は1点)で、寸法精度Ⅱは31mm(前回同様)でした。基準点が一桁の方の中では4名(前回は6名)が水圧試験で漏れがあったことは、大変残念でありましたが、ここでも技能向上が見られました。今年も僅差判

定であり、準優勝と3位の差は順位基準Ⅱにより決定しました。入賞の4位、5位も基準点が1点差で順位がつきました。6位、7位、8位の方も基準点が同点で、特に7位と8位の差は順位基準Ⅱにより順位が決定しました。

また、今回は18位(前回は14位)までの順位が決定したことも、技能コンテストの充実ぶりを示す指標でありました。今回も特に感じたことに、学生たちが同時進行で行うコンテストで、自分の作業の終了した学生たちが一般の部で腕を振るう皆様方の息吹を感じることができるこの大会は、学生たちに大変貴重な経験となりました。第7回を無事終了し、今年も多くの方がご参加いただき、一般の部に参加していただいた方々に改めて、お礼申し上げます。

学生の部(今回から専門学校生も参加)

第5回大会で「全員水漏れなし」でしたが、前回(第6回)の2名に引き続き、今回は3名が水漏れで失格となりました。3名とも寸法誤差が比較的少なく、中でも1名は寸法精度Ⅰは0で入賞者に引けを取らない出来栄でありました。

今回も欠席者はなく、学生として参加者が競い、17位まで順位がつきました。学生には、大空衛、滋空衛の両協会からのご支援があり、今回も練習回数により作品の優劣がついたように思われます。

技能検定で減点のポイントとなる寸法精度Ⅰが0点の生徒が11名(前回5名)。出来栄の減点もなかった4人は水漏れもなく、寸法制度Ⅱの優劣で順位が決定しました。中でも3位と4位については寸法精度Ⅱが同点であったため、規定にある次の基準「精度Ⅱの詳細」によって順位が決定しました。

3級技能検定にない銅管についても、各学校で

の練習の成果が見られ、ろう付けの垂れる程度も少ない学生・生徒が多く見栄えも綺麗でした。

優勝者から上位5名は基準点が1点（優勝から3位）、2点（4位、5位）でありました。出来栄えの減点が1点で並んでいた3人は、寸法制度Ⅱの差で順位が付きまして。また、基準点2点の2人も同様に寸法精度Ⅱの僅差によって順位が決定しました。以下、採点基準に従って6位、7位が決定しました。基準点7点に3名が入り、それぞれ寸法精度Ⅱが10mm、11mm、12mmと1mm違いで順位が決定しました。12位、13位も寸法精度Ⅱの1mm差で順位が決定しました。13位まで

が基準点が一桁でした。（前回は寸法間違いをした生徒1名を除き、18名が基準点一桁）

練習作品で自信を持った生徒は、ほとんど減点のない作品を仕上げる事ができていると感じました。また、学校での練習と大会で実力を発揮する難しさを学んだと思います。「練習で200の力を発揮できるようになってこそ、本番、大会で100の力を出せる」——この経験を生かし、建築設備業界で技術者・技能者として、世の中の役に立つ人に成長することを願っております。ありがとうございました。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 優 勝 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 今岡 優介

私は高校1年生の時に、配管技能検定の3級を受検しましたが、結果は学科試験で不合格でした。2年生になり、建築設備系設備システム専科に進学しました。配管技能コンテストには出たいと思ったので担任に伝え、校内予選を通過しました。

出場が決まり、本格的な練習が始まりました。夏休みになってインターンシップでの企業研修が終わり、玉川さん、池成さんのご指導もあり、基礎・基本から応用まで教えていただきました。

鋼管、銅管、塩ビ管のそれぞれの特徴から細かく丁寧に教えていただいたので、その管の気持ちになって、管が施工してほしい配管施工ができたように感じました。コンテストの前日まで数回作品を作りました。



コンテスト当日を迎え、不安や緊張感もありましたが、こんな大きな大会に初めて参加し、この緊張感からすごく慎重に作業するようになりました。時間を有効に使うことができ、表彰式で優勝者として名前を呼ばれ、大変うれしかったです。

たくさんの方々にご支援いただき、多くの方が応援してくださり、本当にありがとうございました。大変感謝しています。今回2年生で優勝できたので、さらに来年は初となる連覇をめざしていきたいと思います。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 準優勝 ☆☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校 蒔元 章太

私は、コンテストに参加して2つのことを学びました。1つは、積極的に質問することの大切さです。先生や講師の先生にわからないことがあればすぐ質問をしていました。

2つ目は、掃除や整理整頓の大切さです。なぜなら、私達の作業できる範囲は狭く、整理整頓をしないと作業が上手くできないからです。そこで段取りよく作業するため、掃除をして使用済みの工具や部材を整理整頓することを学びました。これらのことは社会に出てもしっかりと行いたいです。

最初は何となくやってみようという気持ちでした。何回か練習していくと徐々に上手になって楽



しくなりました。また友達と競い合いながらやっ
ていくうちに、配管工事に興味・関心を持ちまし
た。最近では、町中で配管工事をしていると、つ
い見入ってしまいます。

今回の大会では、先生や協会の方々に応援して
いただき、準優勝になりました。ありがとうございます。
後輩にはまた、優勝を狙ってほしいと思
います。卒業後の進路先は多賀町役場です。



☆☆☆ 第3位 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 木本 拓馬

私は、1年生の時に配管の実習が楽しかったこ
とと、2年生、3年生にクラブの先輩が設備シス
テム専科で楽しい工科高校生活を送っていること
を知り、迷わず2年生になって設備システム専科
を決めました。

2年生になって3級配管技能検定を受検し、冬
休みも練習したので、無事に合格しました。配管
技能コンテストは部活の先輩たちも代々出場さ
れ、第1回の大阪府知事賞受賞や入賞されるなど



結果を出していました。私もぜひ続こうと思い、
第7回の配管技能コンテストに出場しました。

初めてコンテストに出るので不安や緊張をして
いました。夏休みも部活と配管練習を両立し、練
習するほどに不安も少なくなりました。最初の頃

配管技能コンテストに参加して

は長さがバラバラで、寸法の僅差で順位が決まる上位入賞には程遠い出来でした。前日まで一作業一作業ごとに丁寧に取り組み作品を作りましたが、入賞は厳しいかなあと不安でした。

家に帰り弱音を吐いていたら、家族から『あなたなら、いける！』と声かけしてくれました。その言葉を信じ、コンテスト当日になりました。当日は気持ちも落ち着いていて、先生やクラスメイトも一緒なので緊張感は和らいでいました。

作業が始まりました。鋼管にねじを切り継手を付けて、反対側を切った時にとてつもない不安が襲ってきました。そのとき頭の中に家族からの激励する声が聞こえました。落ち着きを取り戻し、練習中に少し不安だった鋼管作業に入りました。鋼管作業で寸法誤差が出たり、はんだ付けがきれいにできないと入賞はできないので、とても慎重に行いました。自分なりにとても良い状態でできました。最後に仕上げの塩ビ管作業で少しだけ差し込みが足らず、自分の測定でも1^{ミリ}長さがピッ

タリではないと感じるものができました。しかし、その後の仕上げまでは落ち着いた気持ちで練習の成果が出せたと思いました。自分で練習してきたなかでは自己ベストとなる作品を本番でつくることができました。

上位入賞者は僅差で決まるので、入賞できるかなあと不安な気持ちで発表を待ちました。3位で呼ばれた時は本当にうれしかったです。この3位は練習に付き合ってくれた友達や、仕事が忙しいなかでも実技指導に来てくださった玉川さんや池成さん、不安になった私に勇気をくれた家族、クラブの練習計画を優先し自分の時間に合わせて練習させてくださった先生たちのお陰だと思います。

配管技能コンテストを実施していただいた一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の皆様にご心より感謝いたします。4月からは東テク株式会社でお世話になります、一所懸命に努力を続けていきたいと思っています。



☆☆☆ 第4位 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 小西 翔

私は、1年生の時に配管実習を初めて体験しました。その時、初めて加工して作品を作りました。その実習が楽しくて、1年生の時に配管技能検定を受検し合格しました。

2年生で設備システム専科に進み、前回の配管技能コンテストにも参加できました。その結果は残念ながら入賞できませんでした。そのときに次回はずいぶん入賞をと強く思いました。



2年生の終わりには2級配管技能検定を受検し、見事に合格しました。合格が確認できた時は、とても嬉しく、頑張った、努力した成果が結果に表れたと思いました。

配管技能コンテストに参加して

3年生になり、大阪府代表として技能五輪全国大会に出場できることになりました。今回の配管技能コンテストに出場するに当たり、夏休みのアルバイトと配管練習を計画的にこなし、思った程

度の順調さで仕上がりに、結果を持ちました。出場する技能五輪全国大会でも準備を怠らず、自分の力が発揮できるよう全力で頑張りたいです。4月からは、西川設備工業でお世話になります。

☆☆☆ 第5位 ☆☆☆

大阪府立布施工科高等学校 岩永 明香里

配管技能コンテストに参加できることが決まって、とても嬉しかったです。1年の工業技術基礎の実習で初めて「配管」を学んだ時は、とても難しく、でき上がるまでに時間もかかり、できれば美しいとは言い難いものでした。

それからは配管作業をすることもなく、技能が上達することはありませんでした。苦手なまま終わってしまうのかと思っていたのですが、「配管技能検定3級試験」があると聞いて、すぐに親に言って受けさせてもらいました。

資格を持っていると就職にも有利だし、自分への自信もつくと思い、受けることを決めました。それからは苦手なものだと敬遠せず、美しくでき上がるにはどうすればよいかを考えるようになっていきました。同じ検定を受ける人たちや先生がたに教えて貰ったり、教えたりしながら、楽しみながらすることができました。そんなことをしているうちに苦手だった配管は苦手ではなくなっていきました。そして、検定も無事合格することができました。

2年に進級して、専科に分かれ配管を学ぶことがなくなって寂しいなと思っていた時、先生から



配管技能コンテストに出場しないかと誘われ、本当に嬉しくて心が躍りました。また、配管の練習ができるんだと思いました。夏休み中の練習はやっぱり楽しくて、練習の作品にはでき上がりに満足していました。ですが、コンテスト当日は開会式が終わり、開始の合図があるまで気楽に構えていました。しかし、ねじ切り工具の調整に時間がかかり、頭が真っ白になりました。ねじ切りのコツはつかみ、得意だと思っていたので、周りの順調な音だけが頭に響きました。周りを振り返ると、母親や先生がたの応援の声も聞こえ、落ち着きを取り戻しました。皆様の温かい励ましの声を聞くことで、落ちつけて無事作品ができました。表彰式では、まさか入賞できると思っていたので本当に驚きました。この賞は応援していただいた皆様のお陰だと思います。本当にありがとうございました。

平成27年度 第53回技能五輪全国大会 参加報告（千葉県 幕張メッセ）

3年連続大阪府選手団に配管職種で出場！

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

1. はじめに

日頃よりお世話になっています。今回も報告させていただく機会をいただき改めてお礼申し上げたいと思います。

今年で7回目を迎えた貴協会主催の「配管技能コンテスト」も本校を含め、大阪工業技術専門学校も初参加し生徒・学生に根付き、本校生徒も上位入賞できることを楽しみにしています。（入賞記念品が素晴らしいので）



配管作業中の小西君

そんな中で、大阪府五輪予選を通過した2名の本校生が第53回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。

2. 全国大会に参加して

出発前には、大阪府選手団の激励会が咲洲庁舎で執り行われ、技能五輪に参加する気持ちを高め、各々の思いと決意を語りました。

12月3日に開催地である、千葉県幕張メッセに向かいました。4日は午前中に準備・競技説明があり、午後からイベントホールで全体の開会式がありました。

12月5日の競技当日は早朝より会場に入り、開始の合図を迎えました。

午前中は、それまでの練習通りの成果を見せて、ほぼ予定通りのところまで進みました。昼食を取り、気持ちを引き締めて臨んだ2人は、給水、給湯、

排水、通気とそれぞれの管を接合していきました。

また、20A、15A銅管の曲げ加工も、時間がかかりましたが、予定時間内に加工することができました。1回限りの本選を体験できたことで、練習で発揮できていた自分の力を出すことが、如何に大変かを知ることができたようでした。

本校生の技能五輪への道のりは、1年生の時に技能検定3級を受検し、合格した生徒が2年生の時に技能検定2級を受けると同時に、**国競**として技能五輪大阪府予選にも参加することから始まります。小西君、清水君の2名が大阪府代表に決定しました。技能五輪全国大会に3年連続出場させていただきましたが、まだまだ分からないことも多くありました。

3. まとめ

大阪にあるということで、貴協会のお陰をもちまして今年も就職先に恵まれました。

卒業生 33名 学校紹介の就職26名

建設系23名+メーカー 3名

「施工管理技術14名+専門工事技能4名+保守管理4名+設計1名」

技能検定や配管技能コンテストへの取り組みは、建築設備業界への第一歩として捉え、今後も継続してご支援をいただけるように、学校も努めてまいりたいと思います。まだまだ、これからですが今後ともよろしくお願い致します。

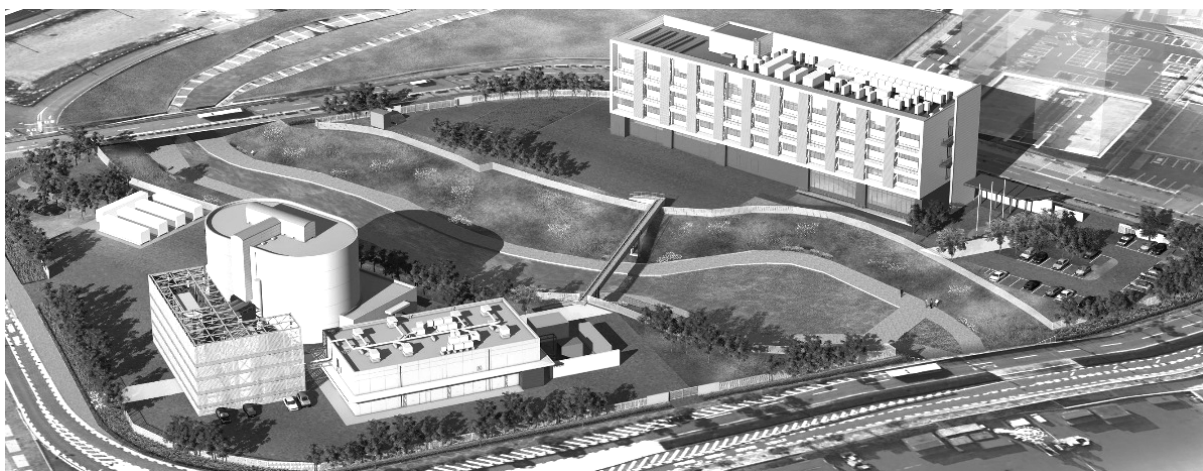


公開水圧試験を終えた清水君

平成27年度 安全パトロールを実施

三機工業(株)関西支社 稲岡 栄治

グローバル認証基盤整備事業 空調・衛生設備工事作業所を巡回



平成27年10月22日（木）に平成27年度安全パトロールを別記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導と、安全労務専門委員の総合安全研修を兼ねて行っています。

今回巡回したのはグローバル認証基盤整備事業の試験評価拠点を整備する現場です。大型蓄電池システムの性能・安全性の試験評価設備があり、受変電設備（特別高圧または高圧）、管理棟・実験棟などがあります。



巡回メンバー

（一社）大阪空気調和衛生工業協会

◇安全労務委員（敬称略）

稲岡 栄治（三機工業(株)）

宮路 直人（(株)朝日工業社）

新原 辰美（新日本空調(株)）

石田 容章（須賀工業(株)）

辻 高司（日比谷総合設備(株)）

◇協会事務局

清王 政志（専務理事）





巡回前に工事概要と経路の説明を受ける



南側よりの主実験棟



現場巡回の様子



東側より副試験棟

巡回に先立ち、現場事務所において当社向井所長より工事の概要説明や現場工程、作業内容と巡回ルートなどの説明を受けました。

当日の現場作業予定は、副試験棟の1階にて空調・換気ダクト吊り込み並びに給排水衛生設備配管の準備作業です。

安全巡回ルートは、主試験棟から副試験棟へと実施しました。副試験棟の1階廊下で高所作業車により、配管・ダクト工事並びに給排水配管の施工準備中で、高所作業車及び立ち馬による高所作業は、安全帯の完全使用により、墜落転落災害防止を確認しました。

1階に加工場並びに資材置場があり、区画・表

示及び安全標識など電動機械の点整備備状況を確認。整然と整理整頓ができており、電動工具の持ち込み許可状況、工具本体の点検状況を確認し良好でした。

冷暖房設備を整備し照明も明るく、机などが整然と連なり清掃が行き届いていました。作業員への快適環境を重視されていることが、よく伺えました。

平成28年2月の竣工に向けて、無事故・無災害で工事が完工されることを願ひましてパトロールを終えました。今回の安全研修として、適切な模範となる作業所を巡回でき、メンバー全員が納得し知識向上に役立った安全パトロールでした。



作業員詰所



喫煙所

巡回した作業所の工事概要

- 工事名称 グローバル認証基盤整備事業 新築工事
- 工期 平成27年3月1日～平成28年2月29日
- 工事場所 大阪府大阪市住之江区南港北1-21
- 建物概要 工種：新築 建物用途：実験施設
構造：鉄筋コンクリート造
階数・高さ：主試験棟 地上1階（18.8m 790.51㎡）
副試験棟 地上1階（8.8m 743.11㎡）
建築面積：3,315.73㎡ 延床面積：12,893.73㎡
- 発注者 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
- 設計監理 鹿島建設
- 請負者 建築工事 東・西工区 鹿島建設株
空調・衛生工事 東工区 三機工業株
電気工事 東工区 株きんでん



完成パース
(左…主試験棟 右…副試験棟)

○空調設備工事概要

- 1) 熱源設備 空冷ヒートポンプチラー
- 2) 空調設備 空気調和機 ビルマルチパッケージエアコン
- 3) 換気設備 給排気ファン
全熱交換器
除塩フィルタ（重耐塩害仕様）

○衛生設備工事概要

- 1) 給水設備 受水槽 11m³ 圧送ポンプにて供給
主試験棟 副試験棟 外部散水系統
- 2) 給湯設備 給湯器による個別給湯方式
- 3) 排水設備 汚水・雑排水の合流方式
実験排水 敷地内に設置の排水貯留槽に貯留
- 4) 都市ガス設備 実験装置と給湯器に供給
- 5) 特殊ガス設備 圧縮空気を実験にて使用
- 6) 散水冷却設備 主試験室内の実験にて使用
- 7) 消火設備 屋内消火栓設備 移動式粉末設備 消火器
- 8) 水噴霧設備 ウォーターミスト設備を実験室にて使用

官公庁との懇談会開催

大阪府住宅まちづくり部 公共建築室設備課 懇談会

(一社)大阪空気調和衛生工業協会は、大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催しました。席上、公共工事の課題、保険未加入対策等について意見交換がなされました。

日時 平成27年11月5日(木)14時

場所 シティプラザ大阪 4階 優の間

出席者(敬称略)

大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課

田邊副理事、西村課長、

矢倉課長補佐、中田課長補佐

(一社)大阪空気調和衛生工業協会

近藤副会長

経営委員会=塩谷委員長

安原副委員長

中井委員

各委員会=前田総務委員長

木村広報委員長

中尾技術委員長

若林労務委員長

清王、井上(事務局)

国土交通省近畿地方整備局 営繕部整備課 懇談会

(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部は、国土交通省近畿地方整備局営繕部整備課との懇談会を開催しました。席上、近畿地方整備局から「営繕積算方式活用マニュアル普及版(国土交通省大臣官房営繕部平成27年10月)」の説明がなされました。引き続き、保険未加入対策、法定福利費を明記した標準見積書の活用等について意見交換がなされました。

日時 平成27年12月1日(火)14時

場所 シティプラザ大阪 4階 奏の間

出席者(敬称略)

近畿地方整備局営繕部

城戸設備技術対策官、丸山整備課課長補佐

(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部

(一社)兵庫県空調衛生工業協会

山口会長、高儀専務理事

(一社)滋賀県空調衛生設備工業協会

大崎会長、北中副会長

(一社)奈良県空調衛生工業協会

森村副会長、阪田副会長

(一社)和歌山県空調衛生工業協会

赤井理事、坂東経営委員

(一社)大阪空気調和衛生工業協会

経営委員会=塩谷委員長、安原副委員長、

中井委員

清王、井上(事務局)

協会募金活動 日赤から表彰

会員・賛助会員の皆様からご支援いただいております当協会の募金活動が評価され、平成27年11月26日（木）、NHK大阪ホールで開催された平成27年度大阪府赤十字大会にて日本赤十字社大阪府支部から表彰状が授与されました。

青年部会が研修会開催

当協会青年部会（会長中山裕章氏）は9月11日午後2時から4時30分まで大阪府中央区のエル・おおさか（大阪府立労働センター）で「入札契約制度」と「AED(自動体外式除細動器)」について研修会を開催しました。

研修会では、まず、国土交通省近畿地方整備局の営繕品質管理官・赤井富弘様と技術・評価課長・橋本力様が「営繕部における入札契約制度について」をテーマに講演し、制度の仕組みなどを解説しました。

このあと、日本赤十字社大阪府支部事業部福祉・安全課の安全講習係長・高間晶子様「AEDを含む赤十字救急法」について説明しました。



講演する赤井様(左)と橋本様



講演する高間様

「管工機材・設備総合展」に協賛

大阪管工機材商業協同組合（理事長恩智秀直氏）主催の「第17回管工機材・設備総合展OSAKA2015」が9月10～12日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪で開催され、当協会も協賛団体として参加しました。



テープカットに臨む当協会の城口俊雄副会長(中央)

同展は関西地区の管工機材・設備機器の一大イベントとして知られ、隔年開催されているものです。今回は、過去最多の182（前回179）の企業・団体・公的機関などが出展。出展ブースも満小間の308小間（前回301小間）と過去最大規模での開催となり、これまで以上の熱気に包まれた展示会となり、前回は大きく上回る1万4622人の来場者で賑わいました。

メインテーマに「管動発信！流体テクノロジーすごいぞ日本」、サブテーマに「安全・安心の裏側にふれてみませんか…」を掲げて開かれた総合展の各ブースでは、生産現場での省エネ、リサイクル、環境負荷軽減に貢献する環境関連機器をはじめ、昨今、頻発するゲリラ豪雨や記録的な集中豪雨、洪水などの土砂災害で貢献する設備機器が幅広く紹介され、環境改善・快適環境の実現に大きな役割を果たす管材・設備機器を来場者に熱くアピールしていました。

4団体協議会を開催

「社保問題」「若手育成」で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する4団体協議会の第19回会合が7月27日に、第20回会合が11月27日にそれぞれ当協会事務局のある建物の会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険未加入問題」、「現場における諸課題」、「若手後継者の育成・確保問題」で意見・情報交換しました。

19回会合には10名が出席。「社保問題」について、ゼネコンは一次下請の保険未加入業者とは契約しない方針であり、平成28年度末までに全下請業者に対して保険加入を求めている状況が報告されました。ゼネコンでは下請業者を集めて保険加入を指導しており、サブコンへは下請業者に対して、保険加入指導をどのようにしているかなどのアンケートがきているとの現状が示されました。意見交換の中では、サブコンから見て一次下請業者の社会保険加入状況は大丈夫と思われるとの見方が大勢を占めました。しかし、問題はその次の

下請であり、「社会保険加入が下請業者にとって相当な負担となっている」、「未加入者の声は、加入すれば会社経営に打撃となる」という見方が出されました。

また、「標準見積書（法定福利費記載）」の活用については、徐々に広がってきているという見方が多い反面、「形は整い始めているが、実際に法定福利費が確保されているかは確認できない。まだ見積書で止まっている」という声がありました。法定福利費を確実に確保するためには、「注文書に明記することがポイントだが、なかなかそこまではいかない」といった意見も出されました。

現場における諸課題については、職人の賃金は以前より上がってきているが、近畿の中でも大阪の賃金は安い状況にあるという見方があり、「職人の賃金が2万円とすると、社会保険を加えると2万8000円となり、この社会保険分の負担が厳しい」と社会保険問題絡みでも難しい局面にあることがわかりました。



第19回会合

若手後継者の育成については、団体活動を通じて布施工科高校、北大阪高等職業技術専門校が非常に身近になり、その結果、優秀な人材を採用することができた事例が報告され、高校、専門校との連携は非常に大事であるということで意見が一致しました。また、インターンシップを通して、設備工事に触れさせる機会が大事であり、地道ではあるが取り組んでいきたいと



第20回会合

の意見も出されました。

さらに、建設業の人材確保の観点から、国土交通省では日本建設業連合会と連携して、週休2日制のモデル工事などを拡大する方向がみられ、今後、時間はかかるがこの問題もクローズアップされてくるとの意見が出されました。

20回会合には11名が出席。保険未加入問題では、大手ゼネコンの一部で11月から取引企業に対し、見積り段階で法定福利費の別枠計上を義務付け、社会保険事業主負担分を支払うことを始めたことが報告されました。見積り段階で法定福利費を別枠計上したものを、契約段階では見積書だけに法定福利費を明記した上で、その後の出来高請求や精算時には工事分と法定福利費分の合算額で支払う仕組みとするものです。また、あるゼネコンは、法定福利費の説明会を開催しており、その概要は、下請の加入者、未加入者の比率を算出し、加入率を掛けて、それに対する法定福利費を支払うというものです。

法定福利費を明記した標準見積書の活用は、大手では提出を義務付けてきているが、その下になるとなかなか活用されていない現状も報告され、「標準見積書を提出しても最後の総額契約で法定福利費が確保されているか疑問である」、「法定福

利費確保の第一歩として標準見積書の活用をさらに求めていく必要がある」などに意見が出されました。

技能者の不足問題については、人手不足による工期の遅延が発生しており、とくに、建築の型枠、鉄筋工、内装工の不足が深刻で、工程のしわ寄せが設備工事にきている現状が示されました。「完成予定を間に合わせるために職人を大量投入する状況に追い込まれている。その際の、応援職人の日当が高いため、工事費に影響が出て、さらに、超過負担分は支払われない状況が続いている」といった意見が出され、「工事費確保のために設計労務単価の値上げを強く求めていく必要がある」などの意見が出されました。

若手後継者の入職については、なかなか進まない現状が示されました。そのため、「休日のあり方を工夫する必要がある。最低週1日の休みは定着しつつあるが、週休2日制の実施には課題が多い。賃金形態、週休2日制を前提とした工事費の確保が欠かせない」、「設備工事の魅力をアピールする努力が必要である（竹中工務店が建設した道具館など）。また、アピールビデオの作成も必要」などの意見が出されました。

第42回野球大会

三機工業(株)関西支社 念願の初優勝

優勝	三機工業(株)関西支社	準優勝	ダイダン(株)大阪本社
第3位	(株)朝日工業社大阪支社	第4位	新日本空調(株)大阪支店

最優秀選手賞 三井 将規選手 (三機工業(株)関西支社)
敢闘賞 山賀 真人選手 (ダイダン(株)大阪本社)

第42回野球大会は、平成27年10月13日、14日、15日の3日間にわたり、舞洲運動広場で開催されました。19チームでの熱戦が繰り広げられた結果、三機工業(株)関西支社が見事初優勝を遂げました。

開会式で太田隆会長は「会員相互の親睦とリフレッシュを目的としてケガのないように頑張してほしい」と挨拶されました。

須賀工業(株)大阪支社の竹森 寛之選手が「楽しく安全にプレーすることを誓います」と選手宣誓の後、白熱した試合が続きました。15日の閉会式では、城口俊雄副会長より優勝を遂げた三機工業(株)関西支社チームへ優勝旗と表彰状が授与され、続いて2位・3位・4位のチームへカップなどの授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社・中野隆久取締役関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾の授与が行われました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



太田会長挨拶



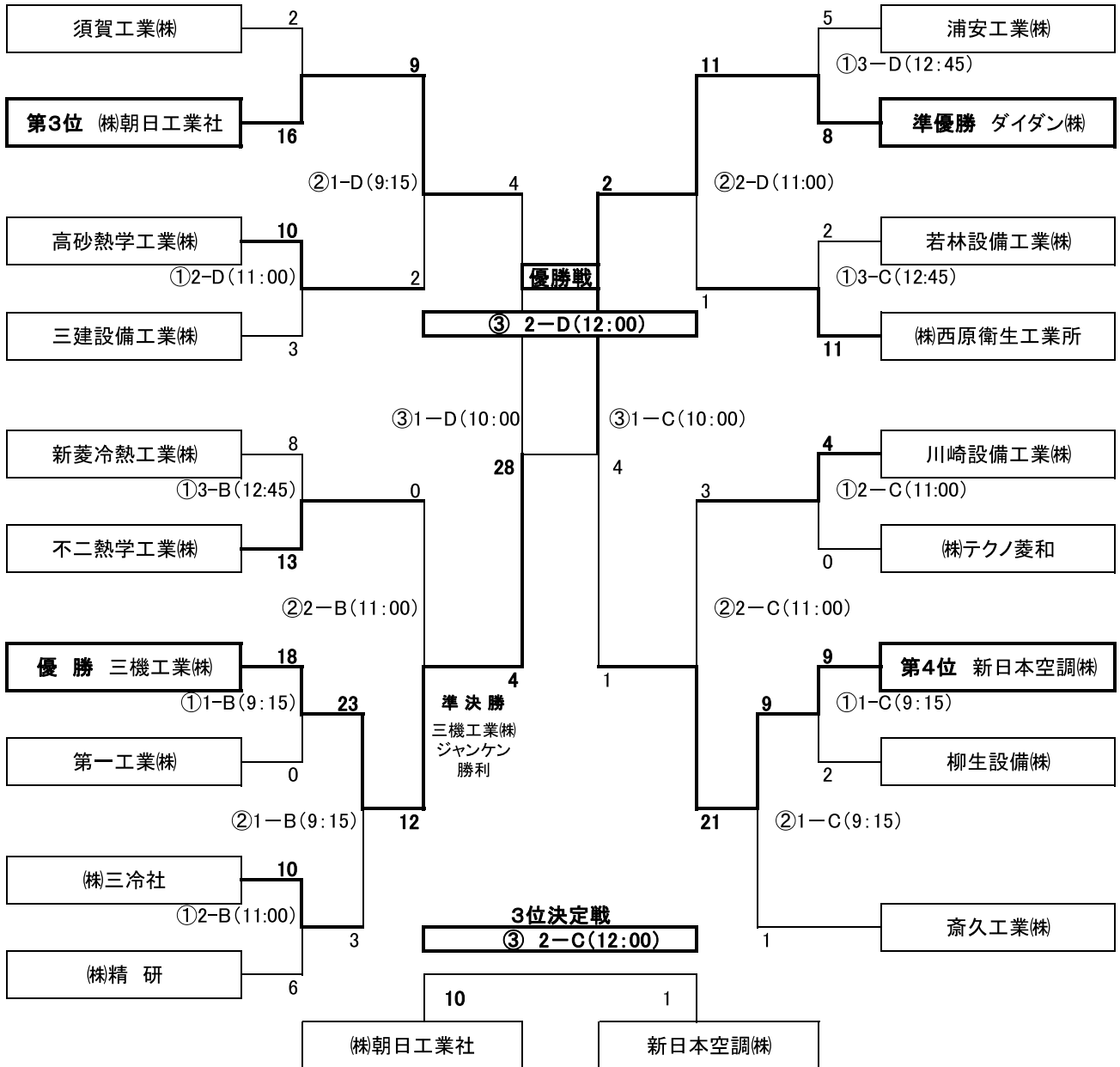
力強く選手宣誓





見事優勝した三機工業(株)関西支社チーム

第42回野球大会組合せ表





準優勝のダイダン(株)大阪本社チーム



第3位の(株)朝日工業社大阪支社チーム



城口副会長(左)からトロフィーを受ける
最優秀選手賞・三井さん



城口副会長(左)からトロフィーを受ける
敢闘賞・山賀さん

観戦記 決勝戦

先攻：三機工業(株) 後攻：ダイダン(株)

三機工業(株) 建部 浩文

第42回野球大会は朝日工業社、三機工業、ダイダン、新日本空調がベスト4に勝ち上がりました。

準決勝は朝日工業社VS三機工業、ダイダンVS新日本空調の対戦となりました。

朝日工業社VS三機工業は序盤から三機工業がリードする展開も終盤に朝日工業社が粘り強い攻撃により遂に追いつき、4対4の同点で試合終了。決着はジャンケン対決となりました。ジャンケン対決も接戦となり、最後は三機工業 小川選手がチョキで勝利し、5勝4敗で三機工業が辛くも勝利しました。

ダイダンVS新日本空調も緊迫した試合展開となりましたが、ダイダン山賀選手の決勝タイムリーヒットにより2対1でダイダンの勝利。決勝戦は三機工業と昨年度優勝のダイダンの対決となりました。



決勝戦は先攻：三機工業、後攻：ダイダンで試合開始。先発ピッチャーは三機工業・三井選手、ダイダン・河合選手です。

1回表、4番有木選手のタイムリーヒットで1点先制すると、2回表には河原林選手の3ランホームラン、有木選手のソロホームランが飛び出すなど、猛打爆発し一挙9点。ダイダンは3回からピッチャーを細川選手に交代するも三機工業の勢いを止められません。有木選手の2打席連続ホームランなどその後も着実に追加点を積み上げます。

ダイダンも横幕選手、河合選手のタイムリーで



優勝旗授与



準優勝カップ授与

反撃しますが、三機工業 先発ピッチャー三井選手が4点に抑えます。

結局その後も点数を重ねた三機工業が28対4でダイダンを降し、悲願の初優勝を飾りました。MVPには準決勝から1人で投げ抜き、投打に活躍を見せた三井選手が選ばれました。両チーム共お

疲れ様でした。三機工業の選手の皆さん本当におめでとうございます。

決勝戦 試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	計
三機工業	1	9	2	3	10	3	0	28
ダイダン	0	0	0	2	1	1	0	4

観戦記 3位決定戦

(株)朝日工業社 VS 新日本空調(株)

鳳工業(株) 岸田 佑介

秋晴れにも恵まれた野球大会も残すところ決勝戦と3位決定戦の2試合となりました。

3位決定戦は惜しくも引き分けて敗れた朝日工業社対、1点差で決勝進出を逃した新日本空調の顔合わせとなりました。

両チーム連戦で疲れの見える中、朝日工業社の

攻撃でプレーボール。序盤、朝日工業社の攻撃は相手のミスもあり1点を先制する。中盤の3回新日本空調・小矢投手の牽制アウトで会場は沸くもファーボールでランナーを出し朝日工業社須藤選手の長打、柳井選手のホームランと一挙5打点を取る。

続く4回も須藤選手のホームランで3点を追加し勝利を大きく手繰り寄せる。反撃したい新日本空調打線でしたが、朝日工業社・木原投手の前に満塁のチャンスを作るも1点止まり。終始、朝日工業社ペースでゲームが進み、結果10-1で朝日工業社が勝ち、見事3位となる結果でした。



第3位チームの表彰

平成27年度大空会ゴルフ大会開催 山野氏が優勝



太田会長による始球式



太田会長から優勝カップを受ける山野様（左）

平成27年11月13日（金）に、奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で47名が参加して恒例の第11回大空会ゴルフ大会が開催されました。

競技結果は次のとおりです。

§ 競技結果 § （敬称略）

- ◇優勝 山野 高晴（川本工業株大阪支店）
- ◇準優勝 坂井 靖和（主計管工株）
- ◇第3位 近藤 徹（不二熱学工業株）
- ◇ベストグロ賞 坂井 靖和（アウト40 イン38 グロス78）



表彰式を兼ねた食事会で和やかに歓談

平成27年度ボウリング大会

団体戦で川本工業(株)大阪支店チームが優勝

恒例のボウリング大会が平成27年11月25日(水)に桜橋ボウルで開催されました。今回は20チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点のボーナス点加算)は、川本工業(株)大阪支店が見事優勝されました。個人戦(女子ボーナス点加算)では、真田裕也様(川本工業(株)大阪支店)が優勝されました。

§ 試合結果 § (敬称略)

◇団体戦

優 勝	川本工業(株)大阪支店	925ピン
準優勝	(株)精 研	915ピン
第3位	大成温調(株)大阪支店	898ピン



優 勝・川本工業(株)大阪支店チーム

◇個人戦

優 勝	真田 裕也 (川本工業(株)大阪支店)	391ピン
準優勝	岡本 茂 (株)精 研	323ピン
第3位	黒田麻衣子 (大成温調(株)大阪支店)	319ピン

◇ハイゲーム賞

男 性	真田 裕也 (川本工業(株)大阪支店)	217ピン
女 性	黒田麻衣子 (大成温調(株)大阪支店)	144ピン



個人戦の上位入賞者



準優勝・(株)精研チーム



第3位・大成温調(株)大阪支店チーム

告知板

賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入
(4,000円×3月までの月数)

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

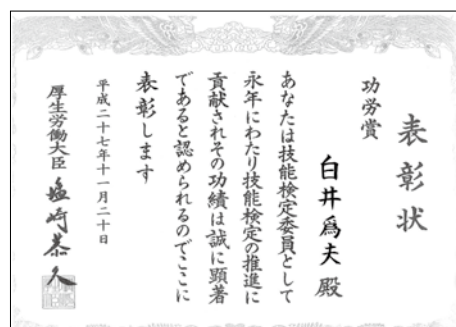
白井爲夫氏が厚生労働大臣功労賞

配管技能検定試験首席技能検定委員

当協会が大阪府職業能力開発協会から運営を受託している配管技能検定試験の首席技能検定委員を務めていただいております白井爲夫氏が、厚生労働大臣功労賞を受賞されました。

白井氏は、技能検定委員を平成9年から18年間務められ、また、平成19年から現在に至る8年間は、首席技能検定委員としてご尽力いただいた功績が認められました。

表彰式は、平成27年11月20日に東京明治記念館にて行われました。白井氏の永年の功績に対して敬意を表しますと共に、心からお祝い申し上げます。



今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月19日(金)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪
4月5日(火) 6日(水)	新入社員研修	電設健保センター
5月17日(火)	当協会第43回定時総会	リーガロイヤルホテル大阪

期待される「地中熱ヒートポンプシステム」

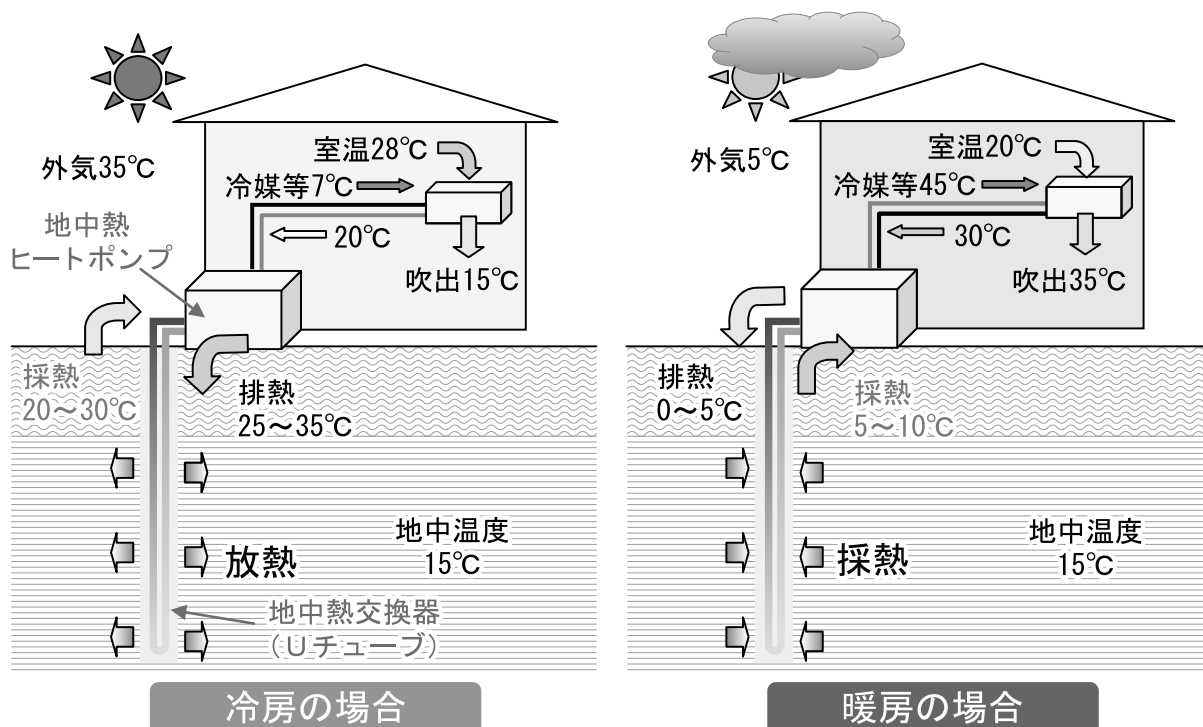
安定した地中熱を利用

地中にある安定した熱エネルギーを取り出し、冷暖房や給湯、融雪などに利用する「地中熱利用」のひとつ「地中熱ヒートポンプシステム」——。低コストで導入できる手法が登場し、普及が広がりにつつある。

地中熱とは、地表からおよそ地下200mの深さまでの地中にある熱のことをいう。深さ10m以深の地中温度は季節にかかわらず、ほぼ安定していて、その地域の平均気温かそれよりも少し高い程度であることが多い。そして、この安定した熱エネルギーを地中から取り出し、冷暖房や給湯、融雪などに利用することを「地中熱利用」と呼ばれ、その利用方法はヒートポンプシステム、空気循環、熱伝導、水循環、ヒートパイプの5つに分類することができる。このうち、ヒートポンプの熱源として空気熱の代わりに地中熱を利用する方法が「地中熱ヒートポンプシステム」である。

同システムは、クローズドループ（地中熱交換）方式とオープンループ（地下水循環）方式がある。クローズドループ方式は、地中熱交換井に熱交換器を挿入し、これと路面に埋設した放熱管との間に不凍液などを循環させ、路面の融雪・凍結防止を行う。オープンループ方式は、地下水を揚水し、それを路面に埋設した放熱管に通水させ、その地下水の持つ熱により路面の融雪・凍結防止を行う。

地中熱ヒートポンプシステムの中で普及率8割以上を占めるのがクローズドループ方式で、同方式は深度20～100m程度の地中熱交換器に不凍液などを循環させ、ヒートポンプで熱交換させるもので設置場所は問わない。地中熱交換器、地中熱ヒートポンプ、室内機などから構成され、地中熱交換器には垂直型と水平型があるが、設置スペースが小さくて済む垂直型が広く普及している。垂直型は深さ数10～100m程度のボアホールに





ボアホール掘削

垂直型地中熱交換機の設定



Uチューブ挿入



地中熱ヒートポンプ(室外機)

Uチューブ（U字管ともいう）を挿入するもので、熱負荷に応じて必要総延長（深さ×本数）が決められる。

低コスト導入手法も登場

「地中熱ヒートポンプシステム」は地中の安定した熱を利用するので、エネルギーが大きな課題となっているわが国には将来が期待されているシステムだが、現状のネックはその設置コストの高さにある。地中熱ヒートポンプシステムの設置コストは、事例によって幅はあるものの、クローズドループ方式で出力1kWあたり25～60万円程度とされている（環境省による事業者へのヒアリ

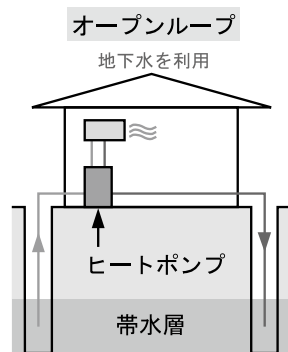
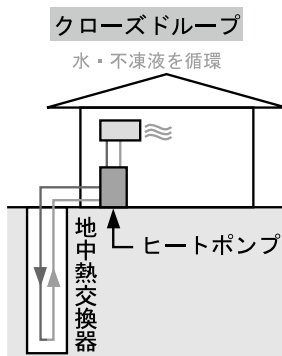
ング結果）。しかし、この初期コストは新たな技術開発によって年々低下している。このところ、低コストで導入できる手法が相次いで開発されている。また、高効率システムも登場し、普及に弾みがつくとみられている。

新聞などによると、三井化学グループの三井化学産資は、地下30mまで掘れば利用できるシステムを開発した。8本の管を束ねた特殊な装置を地中に埋め込み、効率的に熱を吸収する。地中100mまで掘るには1カ所あたり約300万円かかるといわれる中、新手法は掘る箇所は通常より2割程度増えるが、1カあたりの深さは従来の約3分の1と短いため工事費用を3割程度削減できるという。オフィスビルや商業施設などの空調用として売込んでいる。

一方、積水化学工業は地下10m程度の層を広く掘り、管を水平に配置するシステムの提供を開始した。スポーツ用品メーカーと組んで陸上競技場の地表温度を下げるシステムとして、熱中症対策に有効だとアピールするという。

地中熱ヒートポンプシステムは、海外では政府の強い後押しがあり、日本より先行する国が多く、システムの設備容量は米国が日本の約200倍、欧州諸国や中国も日本の数十倍の規模だとされる。

今後、普及による地中熱ヒートポンプの量産効果、掘削技術の進展などでコストが低減すれば、わが国でも採用が大きく広がる可能性を秘めている。





新 公共工事設計労務単価が決定

平均で昨年 2 月比約 5%引き上げ

国土交通省は、2月1日から適用する公共工事の工事費の積算に用いるための公共工事設計労務単価を全国・全職種平均で2015年2月比4.9%増の1万7704円（日額）に引き上げた。これにより、設計労務単価はピーク時の97年度（1万9121円）の9割程度に回復した。

設計労務単価の引き上げは13年度以降4回目で、国交省では、労働市場の実勢価格を反映するとともに、社会保険未加入の建設作業員の加入促進に向けて必要な法定福利費相当額を盛り込んだとしている。新労務単価は国土交通省および農林水産省が昨年10月に実施した公共事業労務費調査に基づき決定したもの。今年3月31日まで新たな労務単価決定を行わない限り、4月1日以降（16年度）もこの新設計労務単価が適用される。

公共工事設計労務単価は公共工事などに従事する建設労働者の基準賃金。国交省や農水省が所管する公共工事に従事した労働者に対する賃金支払い実態調査に基づき設定するもので、公共工事の工事積算に適用される。ただ、下請契約での労務単価や雇用契約での労働者への支払い賃金を拘束するものではない。

設備工事関連の配管、ダクト、保温・保冷の主要3職種の全国単純平均額をみると、配管工は15年2月比1.3%増の1万8142円、ダクト工は同1.7%増の1万7725円、保温・保冷工は同0.3%増の1万9919円となった。

配管工で一番高いのは東京の2万500円、次いで千葉2万300円、栃木2万100円、茨城2万円など。近畿ブロック（福井を含み2府5県）の平均は1万8642円で、トップの大阪と奈良は1万9200円でそれぞれ15年2月比300円の下落。

配管工の労務単価は関東から西へいくほど低下傾向にあり、近畿以西では中国が1万6400円～1万7100円、四国が1万7100円～1万8300円、九州が1万5600円～1万6600円となっている。

ダクト工は東京、埼玉の2万300円が全国で一番高く、近畿は平均1万7900円、うち滋賀がトップで1万8300円。保温・保冷工は中部ブロック4県（静岡・岐阜・愛知・三重）が2万1800円で全国最高。近畿各府県はすべて2万900円で、関東各都県より300円高い。なお、近畿各府県の平均は15年2月比約300円下落となっている。

近畿ブロックの設備主要3職種の公共工事設計労務単価

(単位：円)

	配管工	15年2月比 増減額	ダクト工	15年2月比 増減額	保温工	15年2月比 増減額
福井県	18400	500	17600	▲200	20900	▲400
滋賀県	18800	500	18300	500	20900	▲300
京都府	18700	100	17900	300	20900	▲300
大阪府	19200	▲300	17900	300	20900	▲300
兵庫県	17800	100	17800	300	20900	▲300
奈良県	19200	▲300	18000	▲200	20900	▲300
和歌山県	18400	100	17800	300	20900	▲300

昨年の近畿圏マンション微増

不動産経済研究所まとめによる2015年の近畿圏の民間分譲マンション供給は、前年比0.6%増の1万8930戸とまずまずの水準を維持した。大阪府下(2%減)、神戸市部(14%減)、京都市部(20%減)、奈良県(55%減)、滋賀県(52%減)、和歌山県(11%減)は振るわなかったが、主要市場の大阪府市部が(15%増)が好調で、兵庫県下(36%増)も好調だった。

1戸当たり平均価格は3788万円で前年比4%のアップ、3年連続して上昇した。不動産経済研究所では近畿圏16年の発売は2万戸程度、15年比5.7%増の見込みとしている。



今年度上期建設受注 前年度比7%増

国土交通省の建設工事受注動態統計調査による2015年度上半期(4～9月)の建設工事受注額は、前年同期比7%増となった。「土木工事」は減少したが、「建築工事・建築設備工事」が順調に増加し、「機械装置等工事」も堅調に推移した。

受注のうち元請受注額は27兆6213億円で4%増加した。下請受注額は13兆2042億円で14%の増加。土木工事が7%増、建築工事・建築設備工事が17%増、機械装置等工事が14%増と各工事とも順調に伸びた。

15年上期の工場立地減少

2015年上半期(1～6月期)の「製造業等」の全国工場立地件数は前年同期比7%減、立地面積も12%減と、14年上半期(件数41%増、面積40%増)から大きく後退したことが経済産業省の工場立地動向調査で分かった。輸送用機械、生産用機械、プラスチック製品で増加したが、構成比の高い食料品などで減少した。

近畿ブロックでは、近畿臨海が38件から43件へ増加し、近畿内陸が34件から25件へ減少した。

14年度下期リフォーム伸び悩む

国土交通省がまとめた2014年度下半期(13年10月～14年3月)の建築物リフォーム・リニューアル工事受注額は、前年同期比7%減の4兆8492億円となり、12年度下期(前年同期比11%増)、13年度下期(同10%増)から一転、減少した。ウエートの高い「非住宅」関連工事での受注が落ち込んだ。「住宅」関連工事は前年同期が消費増税前の駆け込みで大きく増加していたこともあって大幅減少となった。

一方、リフォーム・リニューアルの受注件数を部位別(主たるものの件数)にみると、「住宅」分野で「劣化や壊れた部位の更新・修繕」(前年同期比24%減の117.5万件)が圧倒的に多く、次位が「省エネルギー対策」(33%減の6.7万件)。工事部位別に設備関連の受注件数(主たるものの件数)をみると、「住宅」では「給水給湯・排水衛生機器」(全体の76%、前年同期比25%減)が主流で、「太陽光発電設備」(6%、41%減)、「空気調和換気設備」(5%、23%減)、「電気設備」(5%、36%減)など。「非住宅」では「空気調和換気設備」(29%、26%減)、「給水給湯排水衛生機器設備」(28%、横ばい)、「電気設備」(26%、26%増)などが上位。

平成28年度

初級技術者のための 基礎知識研修会受講ガイド

主催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会近畿支部

協賛 一般社団法人 建築設備技術者協会近畿支部
一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会
一般社団法人 電気設備学会関西支部〈予定〉

開催日 平成28年5月9日（月）～5月13日（金）

場所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）5階 視聴覚室
大阪府中央区北浜東3-14（TEL:06-6942-0001）

定員 70名（申込み順で、定員になり次第締め切ります）

受講料 1) 全講座・受講（会員）30,000円（非会員）40,000円
2) 空調・受講／給排水・受講（会員）20,000円（非会員）25,000円

※当協会より受講申し込みの場合は会員価格となります。

いずれもテキスト代を含みます。なお、テキストは受講を前提にしてお渡ししていますので、テキストのみの販売は行っていません。

テキスト パート毎に担当講師作成の資料を受講者に当日お渡しします。

受講内容には計算を伴う演習がありますので電卓を用意してください。

申込締切 平成28年4月22日（金）

申込方法 下記の事務局までメールにてお申し込みください。

受講料のお支払いは銀行振込でお願いします。銀行振込先は次の通りです。

振込手数料は、申込者にてご負担下さい。

振込先：三井住友銀行 備後町支店 普通預金0111689

公益社団法人 空気調和・衛生工学会

振り込み確認後、受講票及び会場案内を郵送でお送りいたします。

受講料は払戻しいたしませんので、当日参加できない場合は代理参加も可能です。

詳細は、下記の工業協会事務局まで お問い合わせください。

申込先 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052 大阪府中央区安土町1-7-20

新ヤマトビル3階

電話 06-6271-0175 FAX 06-6271-0177

Email : inoue-a@tenor.ocn.ne.jp

基礎知識研修会カリキュラム

区 分	日 程	時 間	題 目
共 通	5月9日(月)	9:30～11:00	建築設備の知識
		11:10～12:30	電気の知識
		13:30～15:30	設備図面の知識
		15:40～17:40	施工と安全管理
給排水	5月10日(火)	9:30～12:30	給水・給湯設備
		13:30～15:30	衛生器具設備
		15:40～17:40	消火設備
	5月11日(水)	9:30～12:30	排水・通気設備
		13:30～15:30	排水処理設備
		15:40～17:40	配管と材料
空 調	5月12日(木)	9:30～11:00	室内環境
		11:10～12:30	空調負荷
		13:30～15:00	
		15:10～18:00	空調・換気設備
	5月13日(金)	9:30～12:30	湿り空気線図
		13:30～16:00	熱源設備
16:10～17:40		排煙設備	

受講の組合せは下記の通りとなっています。各コースから一つを選んで下さい。

受講コース名称	共 通 (5月9日)	給排水 (5月10・11日)	空 調 (5月12・13日)
全 講 座	○	○	○
給 排 水	○	○	×
空 調	○	×	○

2016年



迎 春

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (82社)

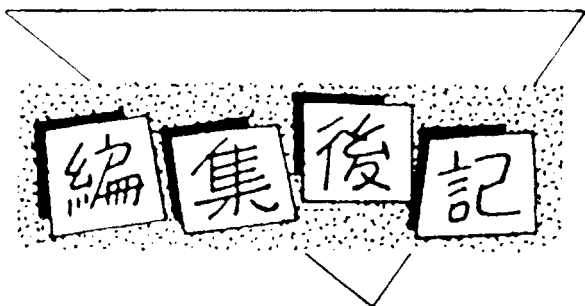
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	稲田 稔	島設備工業(株)	井上 暎夫
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)上杉工業	上杉 陽子	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
浦安工業(株)大阪支店	八里 増樹	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
(株)江坂設備工業	中村 昭一	新日本空調(株)大阪支店	伊藤 雅基
エルゴテック(株)西日本支店	横山 順二	新菱冷熱工業(株)大阪支社	佐々木賢治
オーディーエー(株)	織田 守彦	須賀工業(株)大阪支社	森内 啓治
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	(株)精研	上野 俊信
鳳工業(株)	齊藤 久克	第一工業(株)大阪支店	菅原 英俊
奥田商工(株)	奥田 孝子	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	(株)大気社大阪支社	中島 栄鉄
川崎設備工業(株)西部支社	番 清彦	大貴設備(株)	田窪大五郎
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	(株)ダイキンアプライドシステムズ大阪支店	黒川淳一郎
木村工業(株)	木村 之彦	ダイクウ(株)	中村 淳一
協伸工業(株)	森岡 晟	大晃設備(株)	樋上 雅一
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成温調(株)大阪支店	中井 俊英
享和設備(株)	竹本 和正	大成設備(株)近畿支店	正木 博己
クウケン(株)	久原 功二	ダイダン(株)大阪本社	太田 隆
九櫻設備工業(株)	高安惣二郎	大熱工業(株)	藪本 繁明
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	(株)大和商會	玉置 哲也
五建工業(株)大阪支店	安田 実	高砂熱学工業(株)大阪支店	田渕 潤
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	(株)タカネツ	高木 徳康
財馬冷熱工業(株)	財馬 利幸	田丸産業(株)	堀田 高志
三機工業(株)関西支社	白木 博之	(株)テクノ菱和大阪支店	星野 宏一
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	東洋工業(株)	谷本賢太郎
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	東洋熱工業(株)大阪支店	白石 文登
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	西川設備工業(株)	関田 一也
三宝電機(株)	前阪 利夫	(株)錦	三分一 誠
(株)三冷社西日本支社	生島 清好	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日建設備工業(株)	三井 正雄
敷島煖房工業(株)	松本 光庸	(株)日設関西支店	前田 暁
四國機械設備(株)	曾我 幸二	日本管工業(株)大阪営業所	並田 和明

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	杉本 卓	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	二村 洋一	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
(株) 伯 太 工 業 所	藤井 康彰	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)大阪支店	下田 敬介	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 徹	山 田 工 業 (株)	中道 保信
富士古河E&C(株)西日本支社	高谷 政美	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史

賛 助 会 員

(66社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	沢田 貴史	タ カ ラ 通 商 (株)	三上 幸男
アルファ・ラバル(株)	リチャード・ケリー	(株) 多 久 製 作 所 大 阪 支 店	木塚 賢二
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タ ブ チ	小西 伸二
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	(株)テクノフレックス第三営業部大阪営業所	青山 昭
因幡電機産業(株)	藤田 順三	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
井下機器(株)大阪支店	川口 達也	(株) 電 巧 社 大 阪 支 店	梅田 正幸
英 和 商 工 (株)	尾名 隆司	東 西 化 学 産 業 (株)	河野眞一郎
荏原実業(株)大阪支社	蛭田 功	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	小山 馨
(株) 荏 原 製 作 所 西 大 阪 支 店	管野 善幸	T O T O (株) 特 販 本 部	小山田誠太郎
(株) オ ー ケ ー エ ム	岡崎 洋	T O T O 関 西 販 売 (株)	山田 悌男
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	東 洋 バ ル ヴ (株) 大 阪 営 業 所	小吹 雅則
(株) 大 岩 マ シ ナ リ ー 関 西 支 社	岸田 明彦	(株) ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	米田 敏幸
(株) カ ナ デ ン 関 西 支 社	平木 仁	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
(株) 川 南 フ ァ シ リ テ ィ ズ	小南 長門	ニ ッ タ (株) ク リ ー ン エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業 部	新田 元庸
(株) 川 本 製 作 所 大 阪 支 店	松尾 吉実	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	大友 春久
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	宇佐美俊哉
協立エアテック(株)大阪支店	宮田 篤史	日 比 谷 通 商 (株) 大 阪 支 店	井出 豊
空研工業(株)大阪支店	山本 義信	(株) 扶 洋	横田 好明
(株) 古 島 大 阪 支 店	靄森 武美	(株) ベ ル ノ テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
(株) コ ス タ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	逸見 克孝	北 勢 工 業 (株)	北山 秀晴
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	吉田 和彦
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	吉田 勝彦	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	堤 由 幸
新晃工業(株)大阪支社	宮地 祥一	(株) 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	豊嶋 貴嗣
シンワ工業(株)大阪営業所	中村 博史	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	中村 哲也
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	浜谷与志久	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	岡部 文雄
ゼ ン シ ン (株)	吉田 晃	(株) ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
タイョージョイント(株)大阪営業所	山口 聡	(株) L I X I L 関 西 支 社 関 西 支 店	相羽 清志
(株) ダイキアクシス関西営業本部	高岡 慎也	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株) 大 和	向井 勉	リ ン ナ イ (株) 大 阪 支 店	児玉 宅央



平成27年11月20日、東京明治記念館で、厚生労働省の表彰式が開催され、当協会の白井為夫さんが厚生労働大臣功労賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

白井さんは、大阪府職業能力開発協会が実施されます建築配管作業の技能検定試験の首席技能検定委員をされております。平成9年から現在まで18年間、その間、平成19年から現在に至るまでの8年間は、首席技能検定委員としてご尽力いただいております。その技能検定委員としての功績を称えられて今回、大臣表彰を受賞されました。

配管技能検定試験は、当協会が運営委託を受けて毎年実施しております。検定委員には、大阪府立布施工科高等学校から3人、小倉一浩先生、木下光先生、小池清隆先生にご就任いただいております。また、検定補佐員として大阪府立布施工科高等学校及び大阪府立東住吉総合高等学校から多数の先生方にご就任いただいております。両校の先生方のご尽力により、公正な技能判定が行われておりますことを厚く御礼申し上げます。

平成27年度からは、当協会会員企業から、宇仁敏行さん、岩根正好さんが新たに検定委員に就任していただきます。

平成27年度の建築配管作業技能検定試験は、平成28年1月に実施され、1級、2級、3級、技能五輪併せて140名が受験されます。特に、3級試験は54名と過去最高の受験者数となりました。3級試験の大半は、大阪府立布施工科高等学校及び大阪府立東住吉総合高等学校、そして大阪工業技術専門学校の生徒です。2級にも各校から10名を超える生徒が受験します。高校生、専門学校生に対して受験を推進してくださる高校、専門学校の先生方に心から感謝申し上げます。

検定試験での検定委員・検定補佐員の先生方の試験監督、作品採点は緊張感みなぎる中で行われます。早朝から、技能検定材料のチェックと配付、技能検定試験が始まると、受験者の技能検定作業

進捗の監督、様々な採点チェックが行われます。

作品が完成しますと、寸法、仕上がり状態等の採点が行われます。そして最後に水圧試験による漏水検査です。1日に午前、午後と分けて、それぞれ検定試験が行われますので、検定委員、検定補佐員の先生方は息つく暇もない忙しい一日となり、それが土曜日、日曜日と2日連続で行われます。大変な検定業務を行っていただき、感謝申し上げます。

当協会が、全国で唯一実施しております配管技能コンテストは毎年8月に行われ、平成28年8月には8回目の実施となります。このコンテストの審査も配管技能検定試験で検定委員、検定補佐員を務めていただく先生方をお願いしております。

こちらは、一般の部25名程度（1級配管技能士レベル）と学生の部（3級配管技能士レベル）20名程度が参加されます。

検定試験は冬の寒い中、コンテストは真夏の暑い中で行いますので、大変な状況にもかかわらずご尽力いただいております。先生方の人材育成の情熱はこれに留まらず、大阪府立布施工科高等学校では、コンテスト、技能検定試験を通じて、技能五輪全国大会に生徒が出場しております。先生方のご尽力により、平成24年に同校卒業生が大阪からは5年ぶりという出場を果たすと、以来同校生徒が毎年出場するという快挙を成し遂げられております。

建設業界は、熟練技能者の高齢化、若手入職者の減少という深刻な状況が続いております。技能の伝承も大きな課題となっております。

当協会として、配管技能検定試験、配管技能コンテストを更に充実させ、建設業の人材確保・育成に尽力してまいります。（M.S）

大空衛 第78号

平成28年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号
新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

